

圃場生育診断システム(広域タイプ)

アグリビュー®

AVR4100・4300

移動式監視カメラとして
防犯にも活用
できます!



幼穂形成期の圃場(高所撮影画像)



収穫前15日の圃場(高所撮影画像)



AVR4300

SATAKE CORPORATION

仕様

AVR4100

高所作業車に人が乗り撮影

基本セット

- ・ソフトウェア
- ・アグリエキスパート (PPW3000)
- ・カメラセット
- ・カメラ保持用金具

※本システムは上記の基本セット以外に、所定仕様のパソコンが必要です。
※撮影には、高所作業車をレンタルする必要があります。

AVR4300

1tトラックに撮影装置を搭載、遠隔操作により撮影

基本セット

- ・ソフトウェア
- ・アグリエキスパート (PPW3000)
- ・カメラセット×2
- ・電動旋回台
- ・コントロールボックス
- ・伸縮ポール (取付ボックス付)

※本システムは上記の基本セット以外に、所定仕様のパソコンが必要です。
※車両は1tトラック以上が必要となり、固定用ジャッキの取付改造が必要です。

■ 撮影時期・撮影条件等

対象・使用時期	生育診断時(幼穂形成期～減数分裂期)および、収穫15日前(注)の水稻圃場
機能	生育診断時:撮影画像より圃場の葉身窒素平均値、ヒストグラム、施肥診断結果を表示 収穫15日前:撮影画像より圃場の葉身窒素平均値、玄米タンパク質予測値を表示
撮影条件	順光方向、太陽高度が30度以上であること、対象圃場内の日照条件が一様なこと (雨天時・霧もや時・強風時・結露時をのぞく)
作業時間	1ヶ所につき20～30分(2人作業の場合:撮影面積最大約100ha)
解析	別途正確な地図データが必要(地図があればスキャナで読み込み可能)

(注)出穂から収穫予定日までの日数が45日の場合

■ ソフトウェア動作環境 (AVR4100・4300共通)

コンピュータ	Windows2000,XPが稼働するパーソナルコンピュータ CPUはPentium4以上必要(注) USB2.0ポート×2(プロテクトキー用とデータ転送用)が必要
OS	Windows2000,XP
メモリ	1Gbyte以上必要(注)
ハードディスク	20Mbyte以上、他に画像データ領域・解析データ領域が別途必要

(注)指定より低い仕様でも動作しますが計算に時間がかかります

▲ 機械は取扱い説明書をよく読み、じゅうぶんに点検整備をして正しく安全に使いましょう。商品の外観、仕様は性能改良等により、予告なく変更する場合があります。

■ お問い合わせ窓口

北海道 TEL.011(812)3666(代)	小山 TEL.0285(27)5060(代)	名古屋 TEL.0586(73)2177(代)	松山 TEL.089(982)6990(代)
北上 TEL.0197(64)0111(代)	柏 TEL.04(7132)1181(代)	北陸 TEL.076(277)2085(代)	九州 TEL.092(412)0411(代)
秋田 TEL.018(839)0891(代)	東京 TEL.03(3253)3112(代)	大阪 TEL.06(6331)0558(代)	福岡 TEL.092(921)6111(代)
仙台 TEL.022(287)2733(代)	新潟 TEL.025(287)0177(代)	広島 TEL.0824(20)8575(代)	熊本 TEL.096(382)2727(代)

株式会社サタケ

広島本社
〒739-8602 広島県東広島市西条西本町2番30号
TEL.082(420)8549 FAX.082(420)0003

東京本社
〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目7番2号
TEL.03(3253)3112 FAX.03(5256)7270

ホームページURL <http://www.satake-japan.co.jp/>

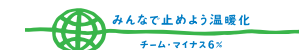
カタログ制作年月 2009年5月 No.423-01

株式会社サタケはマネジメントシステムの国際規格であるISO9001とISO14001の認証を取得し、高品質な商品・サービスの提供に努めています。

ISO9001
認証取得
(品質マネジメントシステム)

ISO14001
認証取得
(環境マネジメントシステム)

サタケはチームマイナス6%に参加しています



デジタルカメラを使った精度の高い生育診断と収穫前の玄米タンパク予測が行えます

特長

1. 良食味米栽培を支援

食味と収量のバランスを保つための、適切な施肥設計に役立てることができます。

2. 施肥のムダを防止、品質ムラを解消

圃場ごとに、穂肥時期の生育状態をその場で把握できるので、適量施肥により圃場ごとの品質ムラを解消し、環境への影響も抑えられます。

3. 収穫前に玄米タンパク含有率の推定が可能

収穫の15日前(注)に、圃場を撮影するだけで、玄米のタンパク含有率予測ができます。これにより、共乾施設では品質毎の仕分け入荷を計画的かつ、迅速に行うことができます。

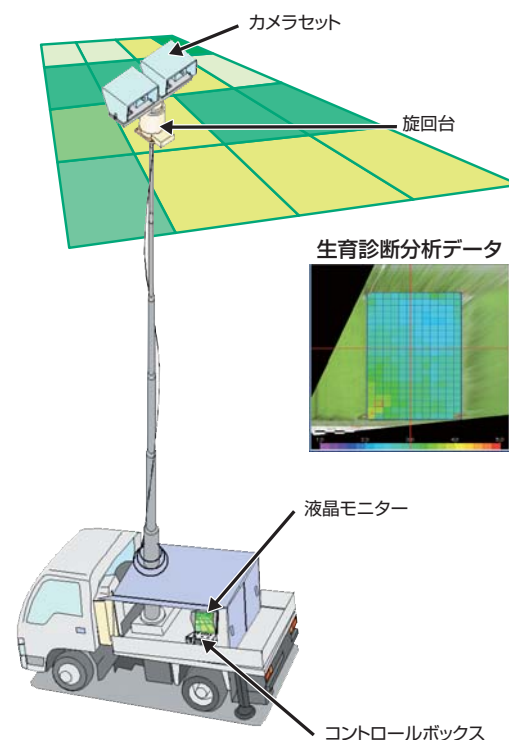
4. 広域圃場での測定が可能

一ヶ所からの撮影で、最大約100haの撮影・解析ができるので、効率的です。また、デジタルカメラで圃場を撮影し、専用ソフトでデータ解析するだけなので、誰でも簡単に作業することができます。

5. 設備投資、ランニングコストが安価

衛星画像や航空画像を利用する診断方法に比べ、少ない設備投資およびランニングコストで運用できます。

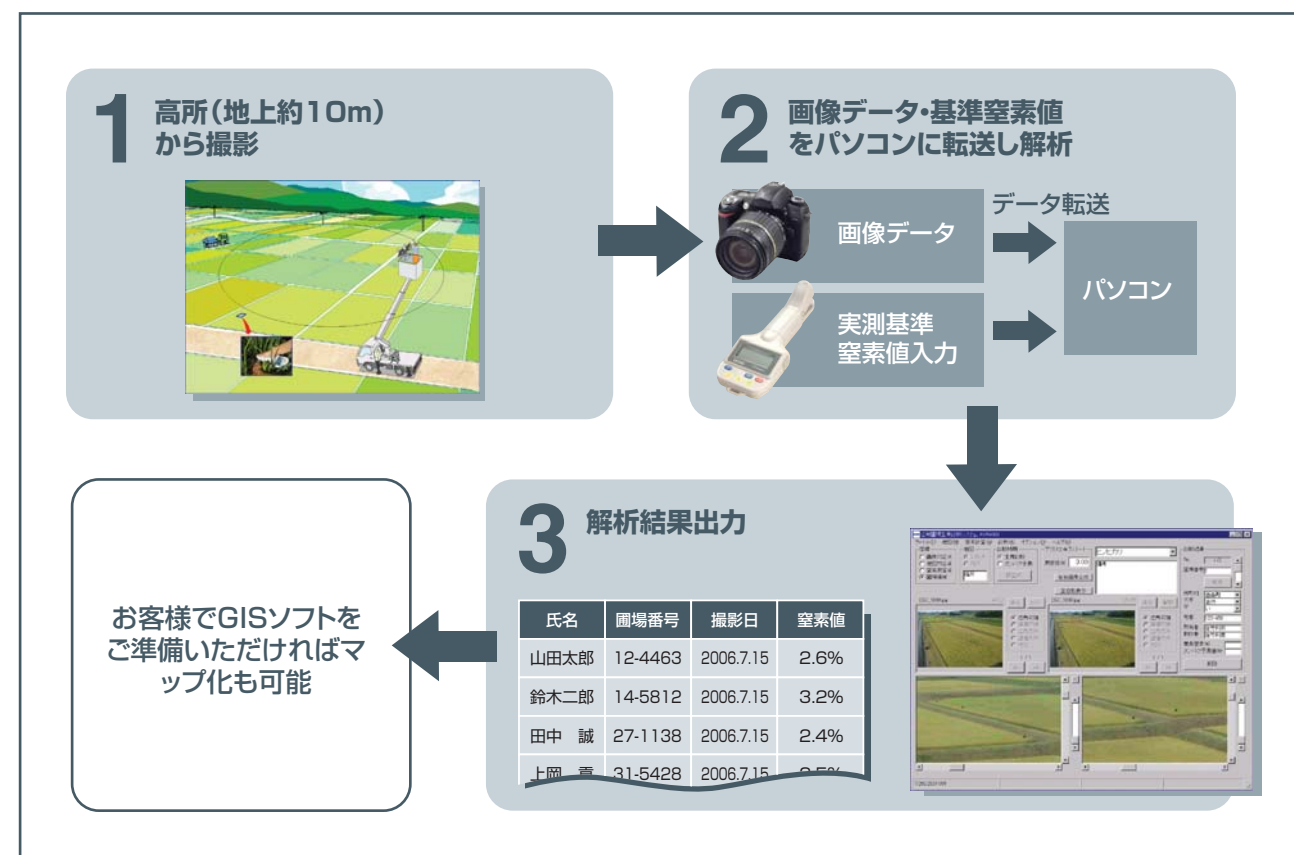
(注) 出穂から刈取予定日までの日数が45日の場合



ステップ1

広域圃場の生育状況を把握できます

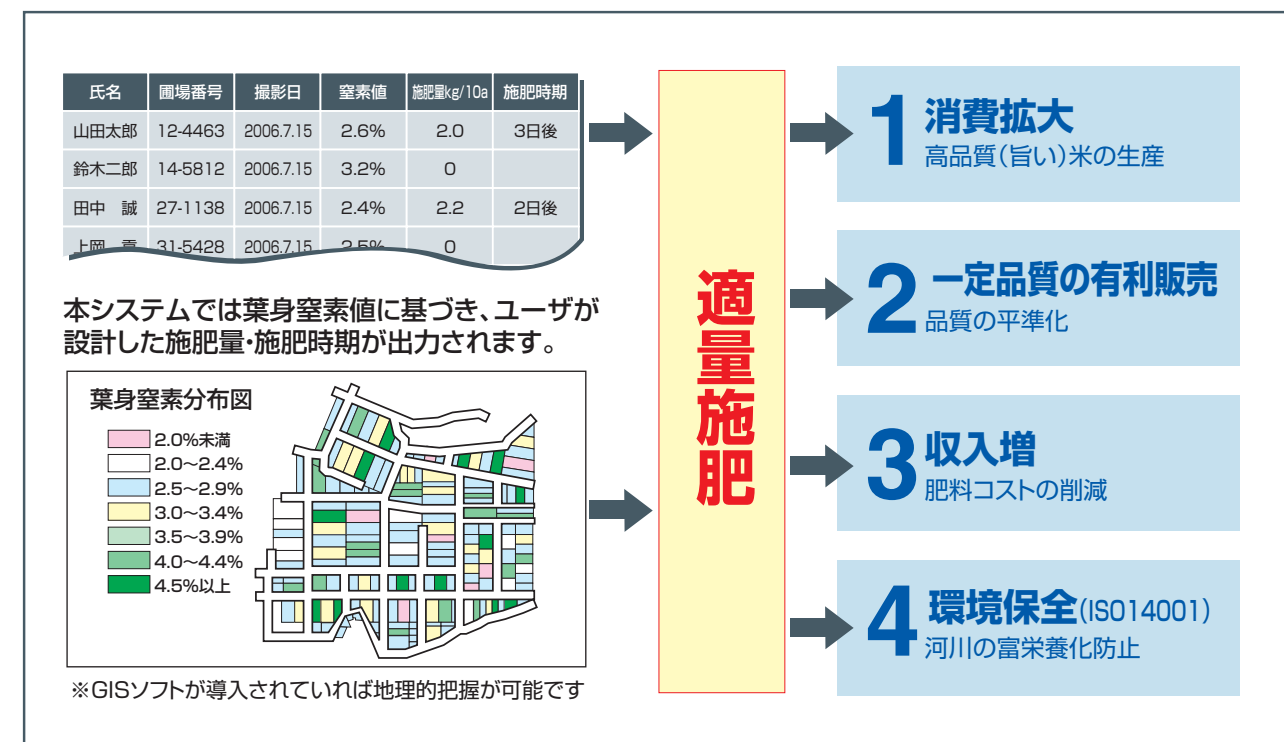
簡単に生育調査ができます。画像から広域圃場の生育状況を一度に把握できます。



ステップ2

良食味米・付加価値米栽培に役立ちます

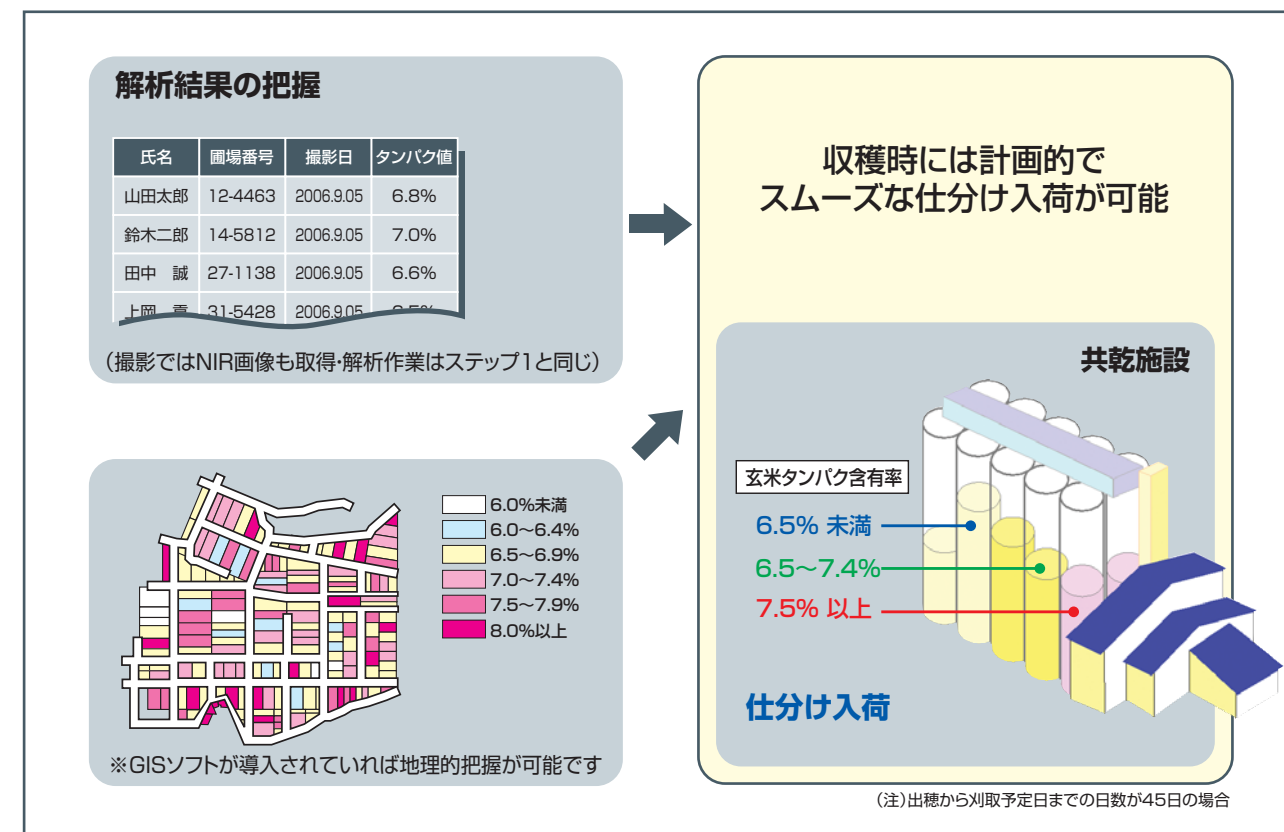
地域内の品質格差をなくすことにより、地域ブランドの確立や、低タンパク米などの付加価値米栽培に役立ちます。



ステップ3

収穫前に米のタンパク予測ができます

収穫予定日の15日前(注)に圃場をデジタルカメラで撮影するだけで、圃場毎に収穫玄米のタンパク含有率が予測できます。



(注) 出穂から刈取予定日までの日数が45日の場合